



BCJ-審査証明-266

建設技術審査証明書（建築技術）

技術名称：内部拘束型形状保持式バッグによる平面地盤補強工法
「D・Box工法（小規模建築物用）」

標記技術の内容について依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に基づき証明するものである。

（開発の趣旨）

- (1) 軟弱地盤の地盤補強対策として浅層混合処理工法が用いられる場合があるが、やや大型の重機が必要なこと、地盤と改良体との大きな強度差、環境面への影響及び撤去の困難さ等の難点がある。これらを克服して、簡便かつ安定的に地盤を補強できる工法を開発した。
- (2) 建物基礎の下に土のうを設置して、交通振動を低減できることが知られていたが、内部拘束具を備えることで、十分な地盤補強効果と振動低減効果を期待できる工法を開発した。
- (3) 地下水の流れを阻害せず、セメント系固化材や添加剤で地中汚染することがない等、地中環境への影響を軽減する工法を開発した。

（開発の目標）

- (1) D・Box工法は、原地盤の長期許容支持力度 q_{90} が 10kN/m^2 以上、又は、 N 値が 1 以上の軟弱地盤において使用可能な工法であること。
- (2) D・Box工法の利用によって、与えられた条件の下で振動低減効果を期待できること。
- (3) 施工マニュアルにより品質の安定したD・Box工法の施工が可能であること。
- (4) D・Box工法は、原地盤に比べて高い透水性を有するD・Boxを使用することにより、地下水の流れを阻害しないこと及び地中への有害物質の溶出を軽減できること。

一般財団法人日本建築センターの建設技術審査証明事業（建築技術）業務規程及び建設技術審査証明事業（建築技術）業務約款に基づき、依頼のあった内部拘束型形状保持式バッグによる平面地盤補強工法「D・Box工法（小規模建築物用）」の技術内容について下記のとおり証明する。

2020年 2月14日

建設技術審査証明協議会会員

一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

理事長 橋本公博

記

1. 審査証明結果

本技術について、上記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) D・Box工法は、原地盤の長期許容支持力度 q_{90} が 10kN/m^2 以上、又は、 N 値が 1 以上の軟弱地盤において使用可能な工法であるものと判断される。
- (2) D・Box工法の利用によって、与えられた条件の下で振動低減効果を期待できるものと判断される。
- (3) 施工マニュアルにより品質の安定したD・Box工法の施工が可能であるものと判断される。
- (4) D・Box工法は、原地盤に比べて高い透水性を有するD・Boxを使用することにより、地下水の流れを阻害しないこと及び地中への有害物質の溶出を軽減できるものと判断される。

2. 審査証明の前提

本審査証明は、依頼者から提出された資料等には事実と反する記載がなく、依頼者の責任において適正に設計・施工・品質管理及び安全対策等が行われることを前提に、依頼者から提出された資料に基づいて行われたものである。

3. 審査証明の範囲

審査証明は、依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に対して、設定された確認方法により確認した範囲とする。なお、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は審査証明の範囲に含まれない。

4. 審査証明の詳細（別添）

この審査証明技術を個々の工事等へ適用する際は、別添内容に従うこと。

5. 審査証明の有効期限 2025年2月13日

6. 審査証明の依頼者

メトリ-技術研究所株式会社 住所 埼玉県加須市南町3番40号